

若狭町 議会だより

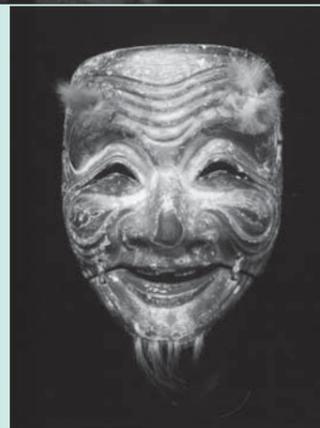


薪能

若狭路博フォローアップ事業

議会の動き	P 10
一般質問	P 6 ~ P 9
8人がたずねました	P 6 ~ P 9
9月定例会	P 2
常任委員会報告	P 2
平成21年度補正予算	P 3
平成20年度決算	P 4 ~ P 5

もくじ



江村幸太郎家「翁」

能面

若狭町には向笠、小川、常神に古くから（室町～江戸時代）伝わる貴重な能面が5面あります。

それに因み、縄文祭りに薪能が行われました。

平成21年度予算

9月定例会

9月定例会は9月7日より25日まで19日間の会期で開かれました。

- 平成20年度決算2件を認定し、平成21年度一般会計補正予算など、14議案を各常任委員会で審議のうえ、いずれも原案可決しました。
- 議員発議による意見書を上程し、原案可決しました。

会計名	補正額	合計額
一般会計補正予算	4億2,079万円	118億2,804万円

主な事業

○携帯電話基地局等整備事業	5,066万円	○除雪対策事業	5,845万円
○子育て応援特別手当事業	1,617万円	○道路維持修繕事業（梅街道）	600万円
○女性特有のがん検診推進事	282万円	○狭あい道路整備等促進事業	
○ふるさと雇用再生事業	1,455万円	町道東部161号線（鳥浜）	1,614万円
○緊急雇用創出事業	438万円	○道路新設改良全般事業	
○かみなか農楽舎整備事業	230万円	町道19号線（天徳寺）	400万円
○エコファーム経営基盤強化支援	3,200万円	○県単河川改修工事負担金	315万円
○農地費全般事業（田上梅街道）	822万円	○河川維持工事（荒川）	100万円
○有害鳥獣対策事業	1,247万円	○急傾斜地崩落対策事業負担金	103万円
○わかさ東商工会館修繕補助金	180万円	○中学生全国大会・北信越出場補助金	133万円
○竜宮跡地整備事業（常神）	1,200万円		

主な収入

○地方交付税	1億3,200万円	○法人町民税	△1億4,300万円
○国庫支出金	6,021万円	○基金繰入金	△6,709万円
○県支出金	5,925万円		
○繰越金	2億2,307万円		
○町債	1億5,150万円		

特別会計

補正のあったもののみ表示しました

会計区分	補正額	合計額
国民健康保険特別会計	2,935万円	17億3,839万円
老人保健特別会計	300万円	955万円
後期高齢者医療特別会計	18万円	1億7,273万円
介護保険特別会計	1,994万円	14億5,011万円
簡易水道事業特別会計	△793万円	1億7,474万円
農業集落排水処理事業特別会計	960万円	4億7,294万円
公共下水道事業特別会計	5,521万円	6億6,817万円
町営住宅等特別会計	30万円	1億4,983万円
国保上中病院事業会計資本的収入及び支出	221万円	3,295万円

教育厚生 常任委員会

○保育所条例の一部改正
岬保育所が公設民営化されます

町営保育所への国からの運営補助がなくなり、入所児が減少し続けている岬保育所の、町営による運営が困難になりました。運営を民営化し、地元の方に働いて頂くことなどにより、存続を図ります。

主な質疑事項

- 問** 運営費がなぜ節減となるのか。
- 答** 人件費の減。給与体系は従来通りだが、期末手当が下がる。
- 問** 長時間保育に際するには残業代がかかるのでは。
- 答** かかるが、地元の人の通勤時間が短く、対応しやすい。
- 問** 保護者の理解は得ているのか。
- 答** ご理解いただいた。

総務産業建設常任委員会

○下水道事業基金条例の一部改正

事業債の償還に充てることとしていた基金の目的を変更し、施設の整備等広く事業の運営にも処分できることとなった。

○「政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、二十万トン規模の政府米買い入れを求める請願書」については継続審査にしました。

○「地方財政の充実、強化を求める意見書採択について」の陳情については、協議の結果有志の委員で提案することになり、25日の本会議で意見書を採択しました。

予算決算常任委員会

委員会での主な質疑応答

- 問** 農林水産業費の内、農林振興計画事業3千200万円の用途は。
- 答** エコファームみかたを再構築するための費用で平成20年までに4千900万円近く補助してきた。松くい虫の対策に毎年多額の資金が投入されているが、人里近くの山を見るとあまり効果がないように思えるが。
- 問** ヘリで薬剤を散布しているため、人里近くは避けている。散布されたところは効果が出ている。竜宮跡地整備事業で1千200万円の補正だが、その理由及び全投資金額は。
- 答** 民宿の新たな食材としてクエの養殖を試してみ

たが断念する。今年度までに5千万円強の投資をした。

問 三方五湖のヒシの除去はどうなっているのか。またバイオマスタウン構想でのヒシの活用は。今年30トンのヒシの刈り取りを行ったが、全体の数パーセントにもならない。舟の航路確保をした程度。ヒシには窒素、リンの養分を含んでいるので、活用は考えられるが、採算面で問題があり、現在では無理。

問 梅街道、十村駅付近の道路修繕は中日本高速道路より半額負担があるようだが、原因は高速道路建設のための土砂運搬であり、全額負担してもらったべきでは。

答 公道であり、全額負担は無理。半額も大変な交渉であった。

問 集落内の狭あい道路の整備はいつなっているか。今回より狭あい道路整備事業等促進事業を導入し、町道東部161号線から着手していく。

答 わかさ東商工会の建設改修補助金(1/2)は、何か基準があるのか。

問 特に基準がある訳ではない。商工会が合併した時点で美浜町は町費で全面改修済、また上中は町施設で指定管理で使用している状況である。競争力のある福井米づくり事業とは。

答 県下統一で来年度出荷分から選別網を1.85ミリから1.9ミリの大きさとするものに対して補助を行うもの。

問 高岸区の水道管は劣化しており、敷設し直したが、町内で古い管を使っているところはないのか。一部残っているかもしれないが、図面上ですべて取り替えた。

平成20年度決算を認定

一般会計歳出総額 97億9,856万円

実質公債費比率 16.3%

公債費による財政負担の程度を示す数値
18%以上になると借りに入りに県の許可が必要

消 防 費

3億8,525万円 3.9%

2組合負担金 3億7,826万円
消防小屋整備(田上) 531万円

消防組合の合併は
平成24年の目標で事務の課題抽出は終了それ以上は進んでいない

議 会 費

9,567万円 1.0%

議員報酬 5,166万円

公 債 費

11億8,499万円 12.1%

教 育 費

8億4,674万円 8.7%

給食センター事業 1億2,320万円
スクールバス等通学事業 3,150万円
三方中学校改修事業 2,656万円
縄文博物館管理運営事業 5,620万円
熊川保存整備事業 3,876万円
公民館活動事業 3,745万円
佐久間記念館建設事業 2,298万円
図書館運営事業 1,773万円

少子化による学校再編計画は
慎重に検討中
熊川保存事業の進捗は
30%の整備済
(220棟のうち70棟)

黒字 は委員会での質問
青字 は委員会での答え

町民一人当たり
58万9600円

商 工 ・ 労 働 費

2億4,494万円 2.5%

観光関連事業 4,443万円
ソーデーマーチ・名水祭・縄文祭 2,450万円
商工会育成事業 1,300万円
シルバー人材センター 921万円

ソーデーマーチの参加者数と宿泊数は
平成20年度参加者5,975人、観光協会を通じた
宿泊数596人

農 林 水 産 費

10億8,706万円 11.1%

農道・排水路等整備事業 1億5,227万円
生産組合・認定農業者等育成事業 9,814万円
有害鳥獣対策事業 9,167万円
塩坂越・小川漁港整備事業 6,749万円
堆肥化施設負担金 6,593万円
森林保全事業 5,447万円
農地・水・環境向上保全対策事業 1,724万円

鳥獣害防止柵の補助は 地元2割負担

土 木 費

10億3,088万円 10.5%

町道整備事業(10ヶ所) 3億4,850万円
町道維持補修事業(36ヶ所) 2,980万円
急傾斜地対策事業(4ヶ所) 1,589万円

町道148号線の進捗状況は
4件の物件補償が成立、平成23年度までの事業
水道の統合と料金体系の統一は
検討委員会で検討中

歳入

自主財源 35.4%
依存財源 64.6%

総 務 費

15億7,419万円 16.1%

ICカード標準システム促進事業 5,080万円
琵琶湖若狭湾快速鉄道積立金 5,010万円
集落センター整備修繕事業(玉置、関) 2,022万円
環境基本計画策定事業 520万円

財政力指数は 町0.57 県平均は0.64
琵琶湖若狭湾快速鉄道の積立金総額は
51億円

民 生 費

18億3,612万円 18.7%

保育事業 4億6,676万円
後期高齢者医療事業 1億4,932万円
児童手当支給事業 1億1,689万円
介護給付事業 1億1,260万円
パレオ若狭施設管理運営事業 9,779万円
心身障害者(児)医療無料化事業 8,246万円
子育て支援関係事業 7,515万円
訓練等給付事業 6,496万円
愛ハート整備事業 4,107万円
社会福祉協議会事業 2,758万円
泉修繕工事 2,116万円

児童手当の財源は 国費で対応を要望
保育所の統合は 地元の声を聞き検討
出産祝い金の効果は 第3子の出産が増加
愛ハートの利用状況は Cネットの指定管理でサロンリーダーの研修等で利用

衛 生 費

14億9,189万円 15.2%

斎場施設整備・運営事業 5億2,494万円
ゴミ処理関連事業 4億2,919万円
小浜病院組合負担金 2億691万円
母子健診事業等 2,767万円
成人保健事業等 2,175万円
老人保健事業等 1,705万円

斎場建設費のその他費用は
外構工事、備品購入、水道負担金等
若狭霊場(小浜)の負担金は
平成22年度から不要

特 別 会 計 決 算

会 計 名	歳 出	会 計 名	歳 入
国民健康保険特別会計	16億1,480万円	農業集落排水特別会計	4億8,717万円
老人保健特別会計	2億 870万円	漁業集落排水特別会計	3,150万円
後期高齢者医療特別会計	1億6,742万円	公共下水道事業特別会計	6億2,250万円
直営診療所特別会計	8,557万円	観光宿泊施設特別会計	410万円
介護保険事業特別会計	13億4,452万円	町営住宅等特別会計	1億5,033万円
簡易水道事業特別会計	3億 168万円	土地開発公社事業特別会計	3,357万円
農労災共済特別会計	243万円		



清水利一 議員

企業誘致の取り組みは

町長 積極的な推進を図っていく

企業誘致政策について

清水 財政面の観点からも企業誘致をもっと積極的に展開すべき。現状と今後の位置づけを含む活動を具体的に伺う。まず三十三産業団地2ha残地の進捗状況は。

町長 進出企業の誘致に至っていないが、若狭町企業振興条例の優遇措置に沿って県へもアピール中。

清水 中核工業団地に進出候補企業の、交渉経過と進出見込みは。

町長 新たな優遇補助の提示で京都本社太陽

光発電会社が意欲的であり、10月の返事を期待したい。

清水 麻生野の上中インター採土跡地4haの進捗状況は。

町長 県の企業誘致リストに登録してインターに近い条件をアピール中。

清水 小原の保育所計画地であった用地の活用計画は。

町長 現在、活用方策はないが内部で十分検討して有効利用を図る。

清水 天徳寺の住宅用地の今後の方向性は。

町長 近隣の分譲価格や取引価格を参考に売買価格を見直し、長期でも投資資金の回収をする。

清水 アクション360プロジェクトの中に企業誘致政策を推進展開する部隊を組み入れる考えは。

町長 今まで通り、商工観光課の体制で県との連携を更に強化し、積極的に推進していく。



テクノバレー（中核工業団地）



霜中茂実 議員

集落自治活動の推進は

町長 集落毎に将来ビジョンの計画策定を

択されるよう努力する。

町有地の有効活用について

霜中 町の至る所に町所有の遊休地が点在する状況となっている。現在、利用目的のない遊休地はどう活用するか。

霜中 町長の目指しておられる「対話による集落づくり・町づくり」の推進に、今後どのような施策をされるのか。

町長 各集落において、課題を解決し、将来のビジョンをふまえた計画を策定してほしい。広域的な計画については、住民主体の地域づくり検討委員会による、公民館体制の再検討を行う。

町長 町が取り組む事業には、該当する国・県の補助制度や交付金制度を採

取組む。

町長 財政状況を踏まえ、土地の取得経緯を考慮し対処する。例えば、道路建設の際の代替地など有効に活用する。

また、利用しない土地は、個人や集落などに払い下げ、売却する方向で取り組む。

町が取り組む事業に

一般質問



増井九右衛門 議員

公約の、観光立町実現の具体的施策は

町長 観光圏を形成し、国の観光圏整備事業を導入したい

増井 嶺南地区の、平成20度の観光入込状況は延べ768万3千人と前年比37万人増えた。テレビド라마「ちりとてちん」と、オバマ大統領効果の小浜市、観光施設整備がされたおおい町、体験型観光の美浜町は増えたが、敦賀、高浜、若狭は減り明暗が分かれた。今年上半年の県まとめの速報値は、前年同期15万人減少との事。全国自治体が観光振興に力を入れる中、単体での誘客は困難。二丁に沿った嶺南の最新情報を一元化し発信するシステムが必要では。具体策を伺う。

町長 若狭町観光ビジョンののっとり観光協

会と一体となり取り組み、今回事務局長を役場から派遣した。ビジョンに掲げる推進順位の高いものから取り組む。また複数の市町が連携し観光圏を形成し滞在型観光を促進する。

住民主体のまちづくり

増井 若狭町総合計画で「集落内では十分な道路幅員を確保する」とある。区長が、集落内に緊急自動車各家まで入れるように狭い道路の整備を願っても、地元負担と用地・補償の問題が大き

く計画要望できない。5m以下の改良工事の地元負担を軽減し、地元が要

望しやすくする考えはないか。また、各家まで救急車が入れない3m未満の道路は町内にどれくらいあるかわせ伺う。

町長 集落内の主要道路は幅員5m道路へ整備推進したい。5m未満の道路の地元負担基準は、昨年決めた現行基準でお願いしたい。また救急車が横付けできないところがあることは十分承知しており、本年から4m未満の道路が対象の狭あい道路整備事業で対応したい。

道路整備事業で対応したい。



択されるよう努力する。

町有地の有効活用について

霜中 町の至る所に町所有の遊休地が点在する状況となっている。現在、利用目的のない遊休地はどう活用するか。

町長 財政状況を踏まえ、土地の取得経緯を考慮し対処する。例えば、道路建設の際の代替地など有効に活用する。

また、利用しない土地は、個人や集落などに払い下げ、売却する方向で取り組む。

町が取り組む事業に

町内交通システム網に デマンド交通システムを 新たなシステム導入への 財政負担は困難

考になるが財政的負担で困難と聞いている。

小堀 長寿大国日本と言われているが、三人一人が「がん」で亡くなっており、がんの正しい知識の普及は遅れている。

昨年10月厚生労働省が普及啓発懇談会をスタートさせた。

先進国中、日本人のがん検診率は最低で、受診の重要性を教わっていないからといわれている。

子どもたちの、生き方に影響するがん教育を取り入れられないか。

教育長 文科省では、保健体育のカリキュラムで、健康な生活と病気の

予防として、中学で16時間定められ、その計画に基づきがんの授業も行っている。

今後は生徒、教師、保護者も一緒にがん予防の学習に努めたい。





小林和弘 議員

新設道路二路線は必要か

町長

地域活性化
まちづくりのため必要

小林 政権が変わり不要不急な事業の精査のため、可決済みの補正予算も見直しの作業に入った。この考え方は若狭町にも必要であり、その観点から2本の新設道路計画についてその必要性及び進捗状況を伺う。

現在、用地買収と建物を含む物件補償及び建物の移転交渉を続けており、平成23年には工事完成にこぎつきたい。

小林 東部74号線は火葬場建設の条件の一つがこの道路であるので、北前川集落への補償は必要だが、集落内の道路を可能な限り拡幅し、家の軒先まで救急車が着ける事業に変更すべきでは。

町長 東部148号線はまちづくり交付金事業を導き、周辺部の住宅地や近隣集落からの利便性を向上させ、商業地域の活性化を図るもので、まちづくりに欠かすことができない。

町長 東部74号線については、山際を周回して北前川から南前川への周回道路であり、佐久間キャンプ場、佐久間記念交流会館を経由するもので、緊急時には防災上有益な道路であるので、北前川集落への補償は必要だが、集落内の道路を可能な限り拡幅し、家の軒先まで救急車が着ける事業に変更すべきでは。



藤本 勲 議員

特養施設の入所待機者に「五湖の郷」の空き室利用を

町長

障害者福祉サービスを受けている待機者に入所を勧める

藤本 「五湖の郷」の障害者ケアホームでは15床が空き室状態と聞く。待機者の多い特別養護老人ホームへの転用が考えられないか。

減に落ち込んでいる観光サービス業に、早急な行政支援を。具体的には製造業には、異業種交流の推進、観光サービス業にあっては、若者に目に見える支援でやる気を喚起させる。

町長 本年10月から支援法の改正で、身体障害者の方も、ケアホームへ入所できる資格が得られる事になった。特養施設待機者の中で、障害福祉サービスを受けている方に入所の勧誘をする。

藤本 従業員の出勤調整が行われている製造業、民宿の三割が売上半減に落ち込んでいる観光サービス業に、早急な行政支援を。具体的には製造業には、異業種交流の推進、観光サービス業にあっては、若者に目に見える支援でやる気を喚起させる。

町長 現在、若狭テクノバレー企業連絡協議会が組織されている。この協議会をもとに検討したい。



町長 建設業界、卸小売業界にあっても、できる限り地元優先で進める。

一般質問



北原 武道 議員

相続放棄された危険家屋の対策を

町長

関係者との協議をすすめる

北原 同一親族によって相続放棄された二つの空家がある。一つは通学路に面している危険家屋、もう一つは集落の道路拡幅にかかっている。

町は、解決のため、相続財産管理人をつける努力を。

町長 関係者との協議をすすめる。

偉人顕彰会の現在の運用は憲法違反

北原 ①「ある人物を尊敬するか、しないか」は人の内心の問題である。町が特定の人物を偉人として町民に押しつけることは憲法11条、19条に違反する。

②ある町民や町民有志が特定の人物を偉人として顕彰することは憲法21条による権利である。この場合、町はこの権利を保障しなければならない。つまり、催しをしたいという場合、町の施設を会場として貸してあげるとか、また、その人（有志）が顕彰のための建物を建てた場合には、上下水道を確保するようにしてあげる、ということである。

町長 勉強して次の機会に答える。

北原 「若狭町偉人顕彰会」の主体は町がつくった町直営の組織である。会則はそれをカムフラージュする役目をしている。若狭町偉人顕彰会がこのような運用は憲法違反である。



ある。即刻改めよ。

町長 佐久間勉船長遺徳顕彰会、松木長操奉賛会、若狭膳臣奉賛会を統合した。

北原 全く違う二者を顕彰する三つの有志の組織があった。なぜ、町が一本化して全体を顕彰する組織をつくる必要があるのか。行政の介入である。今後とも質問する。



藤田 美穂 議員

町の医療体制は

町長

町内の自治体医療機関は、身近な医療機関と位置づける

藤田 自治体病院の町独自の負担額は合わせて年間6千816万円、単純に住民一人当たり、年間4千100円となる。

今後、レイクヒルズの国の補助の打ち切りにより負担額は増大する。より少ない額で、住民の安心が保障されることに力を入れるべきと思う。

自治体として、各病院をどう位置づけ、どういう役割を担わせ連携を取って行くのか。若狭町として明確にして行く必要がある。

上中病院、三方診療所は住民のかかりつけ医として身近な医療機関と位置づける。小浜病院は救急・高度専門医療を担う中核病院と位置付けたい。また広報として、上中病院便りを充実させて行きたい。

「アクションプロジェクト」

2024年

藤田 具体的な動きは。

町長 役場の各部署を横断した若手職員によって構成し、住民の視点に



立って町づくりの方向性を見出し、住民サービスの向上を目指します。私を含めた全職員に町づくりに対する考え方を調査し、住民調査も行う。結果をもとに議論を重ね、町づくりの基本理念、役場の経営理念を策定していきたい。今、職員は一生懸命知恵を出し合っており取り組んでいる。

議会の動き

- 7月30日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 8月4日 小浜市・若狭町議会総合振興協
議会
- 20日 県知事要望活動
- 25日 敦賀美方消防組合議会
- 26日 議会全員協議会
- 27日 嶺南市町議会議長会総会
- 27日～28日 敦賀美方消防組合議会研
修
- 9月1日 議会運営委員会
- 若狭消防組合初期消火技術大会
- 3日 公立小浜病院組合議会
- 4日 議会全員協議会
- 7日 議会本会議(開会)
- 議会活性化特別委員会
- 11日 議会本会議(一般質問)
- 14日 献穀田抜穂式
- 15日 予算決算常任委員会
- 16日 予算決算常任委員会
- 17日 教育厚生常任委員会
- 18日 総務産業建設常任委員会
- 20日 予算決算常任委員会
- 20日～21日 美水道築博若狭路もてな
し食フエア in 若狭
- 24日 常任委員長会
- 25日 本会議(閉会)
- 議会活性化特別委員会
- 29日 議会全員協議会
- 公立小浜病院組合議会
- 30日 議会活性化特別委員会

- 10月4日 三方五湖一斉清掃活動
町自衛消防隊三方地域操法指
導会
- 8日 若狭消防組合議会定例会
- 15日 町戦没者追悼式及追悼法要
- 17日 松木神社例祭
- 17日～18日 若狭・三方五湖ツーデ
ーマーチ
- 18日 熊川いつぶく時代村
- 19日 美浜町・若狭町振興協議会
- 23日 国道303追分隧道開削促進期成
同盟会、京都大原今津小浜間
国道整備促進期成同盟会要望
活動



自動車道工事現場視察 町自衛消防隊三方地域操法指導会



抜穂式

千足のわらじ

大野市に住む90歳のおばあちゃんが、千足のミニわらじを送ってくれました。「拉致された子供がかわいそうで、その親がかわいそうで、今のわたしに何かできないかしら、と思いたち一足一足心をこめて編みました」一足45



黒古かず子さんに感謝状を手渡す森下町長
後方 宮内さん、山下さん、池田会長

分かります。4万5千分の思いが北朝鮮に届き、一日でも早く家族が再会できることを祈ります。

(広報委員長 小堀友廣)

